

科目名 地域のくらしを支える看護Ⅱ	配当時期 2年次後期	講義担当者 嶺野さとみ 樋口裕也	
時間割表記名 地域のくらしを支える 看護Ⅱ	単位数 1単位 時間数 30時間(16回)		
事前学習内容			
授業目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括ケアシステムの意義と概念について理解する。 2. 「自助」について、健康の保持増進を支援する看護に必要な技術を学ぶ。 3. 「互助」について、現状の互助組織を理解する。 4. 「共助」について、地域で生活する人々を支える仕組みを理解し、多職種と協働することについて理解する。 5. 「公助」について、地域で生活する人々を支える制度や種類を理解する。 6. 多様な場における看護の実際を理解する。 			
DPとの関連 <p>DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。</p> <p>DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。</p> <p>DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。</p> <p>DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。</p> <p>DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。</p>			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 地域包括ケアシステム	講義	テキスト① 第2章C1
2	1) 地域包括ケアシステムとは 2) 地域包括ケアシステムの構成要素		テキスト① 第5章C テキスト② 第5章ABC
	2. 地域・在宅看護実践の場と連携 1) 地域・在宅における多職種連携 2) ケアマネジメントと社会資源の活用		テキスト② 第6章AB(③)
	3. 地域・在宅看護マネジメント 1) 地域・在宅マネジメントとは 2) 多様な場における地域・在宅看護 3) 介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント		

3 4	3. 地域・在宅看護に関わる制度とその活用 1)介護保険・医療保険制度 2)地域保健に関わる法制度 3)高齢者に関する法制度 4)障害者・難病に関する法制度 5)公費負担医療に関する法制度	講義	テキスト① 第6章 ADEFGH
5 6	4. 地域包括ケアシステムと「自助・互助・共助・公助」 1)自助・互助・共助・公助の意義と役割 (1)健康の保持増進のための自助 (2)現状の互助組織 (3)地域で生活する人を支える仕組み (4)地域で生活する人々を支える制度	講義	テキスト① 第2章 C2
7	5. 病院と在宅との連携 1)病院で行う地域・在宅看護マネジメント 2)外来における地域・在宅看護マネジメント	講義	テキスト① 第5章 B(⑥) テキスト② 第6章 B(①②)
8 9	5. 透析治療を受ける人の暮らし 1)透析療法の必要性の理解 2)生活への影響(ライフスタイル・社会背景) 2)透析を継続するための自己管理 3)利用できる社会保障・福祉制度	講義	テキスト③
10	6. 多様な場における看護の実際 1)暮らしを支える看護とは (1)暮らしの環境を整える看護 (2)地域における家族を支える看護 (3)地域におけるライフステージに応じた看護 (4)地域での暮らしにおけるリスク (5)地域での暮らしにおける災害対策	講義 個人ワーク	テキスト①
11 12 13	6. 多様な場における看護の実際 1)地域に暮らす認知症高齢者の暮らしと人々が支え合っ て生きるということの理解 2)難病で療養生活を送る人の暮らしと人々が支え合っ て生きるということの理解 3)地域に暮らす統合失調症の人の暮らしと人々が支え合 って生きるということの理解 4)化学療法をうけながら暮らす人々の理解	グループワーク 事例を通して、A氏 の現在の症状や生 活上の支援(困りご と)は何か考え、今 後の生活について、 どのような支援が必 要か、関わっている 機関・関係者の立場 から考える。	資料 *13回目は45分

14	6. 多様な場における看護の実際	全体発表	資料
15			
16	筆記試験(45分)		
受講上の注意			評価方法 筆記試験 発表資料 レポート 出席状況
<p>使用するテキスト</p> <p>① 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の基盤 医学書院</p> <p>② 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の実際 医学書院</p> <p>③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 腎・泌尿器 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>① 看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護 中央法規</p> <p>② 家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第5版 日本看護協会出版会</p> <p>③ 看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>			